

<別紙>

## 絵本の読み聞かせの方法



- (1) 絵本の持ち方、めくり方
- ・ (基本) 右綴じの本は、左手で持つ。左綴じの本は右手で持つ。  
自分の側から向こうにページを繰る。
  - ・ ページの開きぐせをつけておく。
  - ・ 絵本は、ぐらぐらしらないように、本の背を親指、ページの下を4本の指で支える。
  - ・ 絵本が読み手の方に向いてしまわないようにする。
  - ・ 横長の絵本は、斜めに傾きがちなので気をつける。
  - ・ 体や指が絵におおいかぶさらないように注意する。
  - ・ 字がない場面でも、絵を充分に見せる。

## (2) 声の出し方

- ・ 子どもたちの人数に合った大きさで読むようにする。
- ・ 教室の後ろまで、声がとどくように注意する。
- ・ 時、場面などの間を考えて読む。
- ・ 声色を無理に使用したりしなくてもよい。心をこめて自然体で読む。
- ・ おはなしの内容や展開をよく把握して、事前に何度も読みこんでおく。

## (3) 会場（教室）での読む位置

窓を背景にする場合は、カーテンをしめる。

子どもたちとの距離は、1.5メートルは空ける。

子どもたちがいすに坐って聞く場合→読み手は立って読む。

子どもたちが少なくて床に坐る場合→読み手は、いすに坐って読む。

子どもたちは、なるべく詰めて坐ってもらう。横に広がらないように坐る。

※ 全部の子どもたちから絵本が見えるように、注意する。

## (4) 会場のセッティング

注意すること ① 子どもの気が散るものは、視界からははずす。

本やぬいぐるみ等

② 日差しや反射にも注意する。

子どもから見てまぶしくない場所を背にして読む。(黒板の前等)  
窓を背景にする場合は、カーテンをしめる。

③ ほかの音が入らないようにする。

放送、チャイム等

④ 会場の温度、明るさなどにも注意する。

窓から光が入りすぎる場合などは、カーテンをしめる。